

平成25年度 第8回キッズ・モニターアンケート

「税金について」アンケート結果

平成25年度第8回キッズ・モニターアンケート「税金について」の実施結果は以下のとおりでした。
キッズ・モニターの皆さん、ご協力ありがとうございました！

●実施概要

- (1) 実施期間 平成26年1月7日～1月20日
- (2) 回答者数など



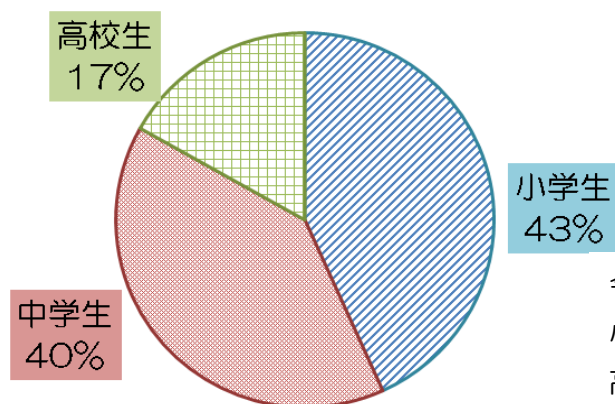
	小学生	中学生	高校生	計
モニター登録者数(人)	168	213	91	472
回答者数(人)	90	83	35	208
回答率(%)	54	39	38	44
回答割合(%)	43	40	17	100

●アンケート結果概要

Q1 あなたの年代

あなたの年代はどれですか。

- ①小学生
- ②中学生
- ③高校生



今回のアンケートに回答してくれた人は、小学生が90人、中学生が83人、高校生が35人でした。

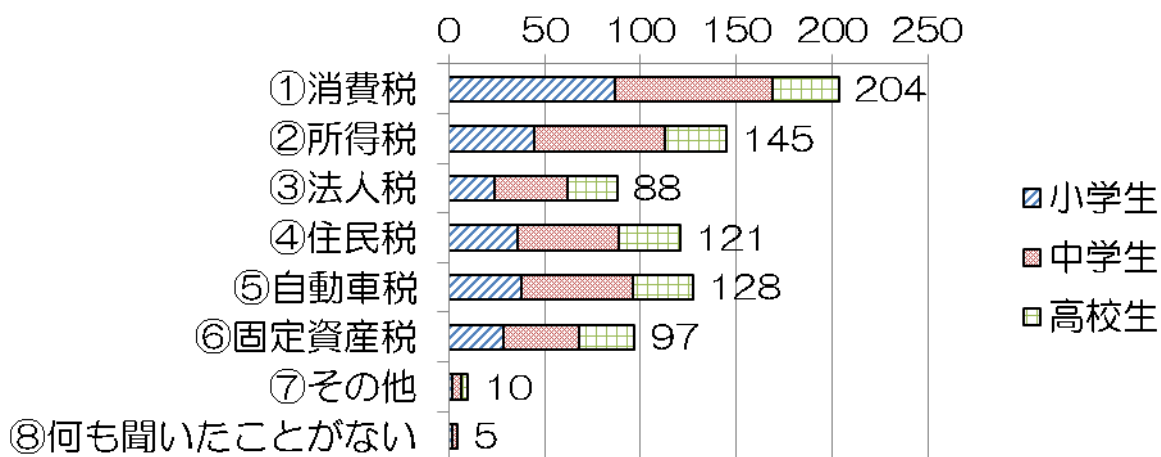
Q2 税（ぜい）金の種類

税金（みんなで社会を支えるための「会費」のようなもの）には、大きく分けて、国に納める国税、地方（県、市町）に納める地方税があり、約 50 種類あります。あなたが、聞いたことがある、または知っている税金はどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

- ①消費税・・・商品を買ったりサービスを受けたりしたときなどにかかる税金
- ②所得税・・・会社からもらう給料や自分で商売をしてかせいだお金などにかかる税金
- ③法人税・・・会社がかせいだお金などにかかる税金
- ④住民税・・・住民が、それぞれ住んでいる都道府県や市区町村にはらう税金
- ⑤自動車税・・・自動車を持っているときにかかる税金
- ⑥固定資産税・・・土地や建物などを持っているときにかかる税金
- ⑦その他（ ）
- ⑧何も聞いたことがない

※延べ人数 （単位：人）

	小学生	中学生	高校生	計
①消費税	87	82	35	204
②所得税	45	68	32	145
③法人税	24	38	26	88
④住民税	36	53	32	121
⑤自動車税	38	58	32	128
⑥固定資産税	29	39	29	97
⑦その他	2	5	3	10
⑧何も聞いたことがない	2	3	0	5



アンケートに回答してくれた人208人のうち、204人が消費税を知っていると答えました。また、所得税、住民税、自動車税も半数以上の人を知っていると答えました。その他では、たばこ税、酒税、相続税、贈与税、入湯税、関税といった回答もありました。この機会におぼえてください。

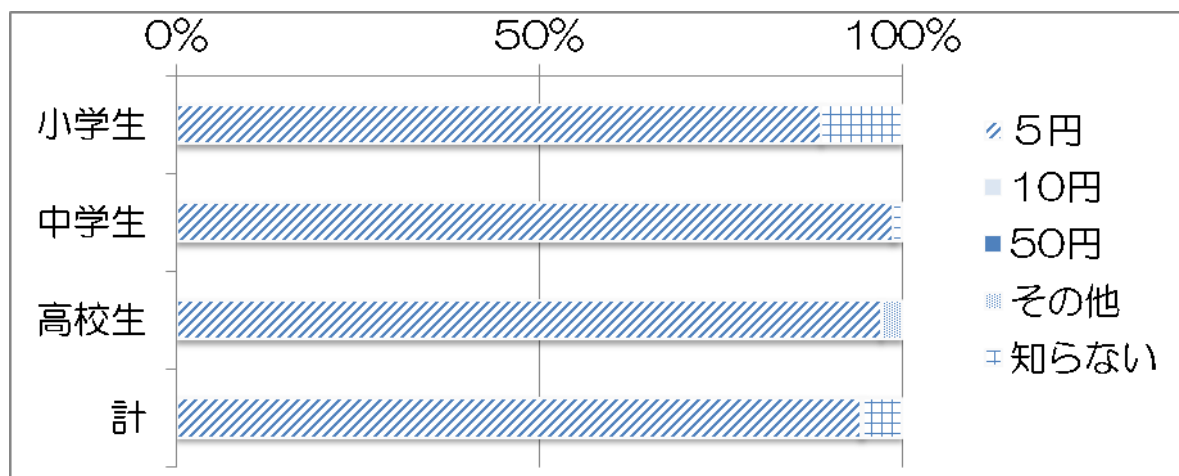
Q3 消費税(1)

Q2の消費税とは、商品を買ったりサービスを受けたりした人(消費者)が負担するものです。105円の買い物をしたとき、その代金の中にいくら消費税が含まれているか知っていますか？

- ①5円
- ②10円
- ③50円
- ④その他()
- ⑤知らない

(単位：人)

	小学生	中学生	高校生	計
5円	80	82	34	196
10円	0	0	0	0
50円	0	0	0	0
その他	0	0	1	1
知らない	10	1	0	11
計	90	83	35	208



正解は、「①5円」です。小学生では、「知らない」を選んだ人もいましたが、ほとんどの人が正解でした。なお、高校生の「④その他」は、「消費税4円+地方消費税1円」との回答でした。地方消費税のことは、少し難しいと思ったので、質問ではまとめて「消費税」と書きましたが、本当は、これがもっとも正しい回答です。さすが高校生！（消費税は国税、地方消費税は地方税（県税）です。）

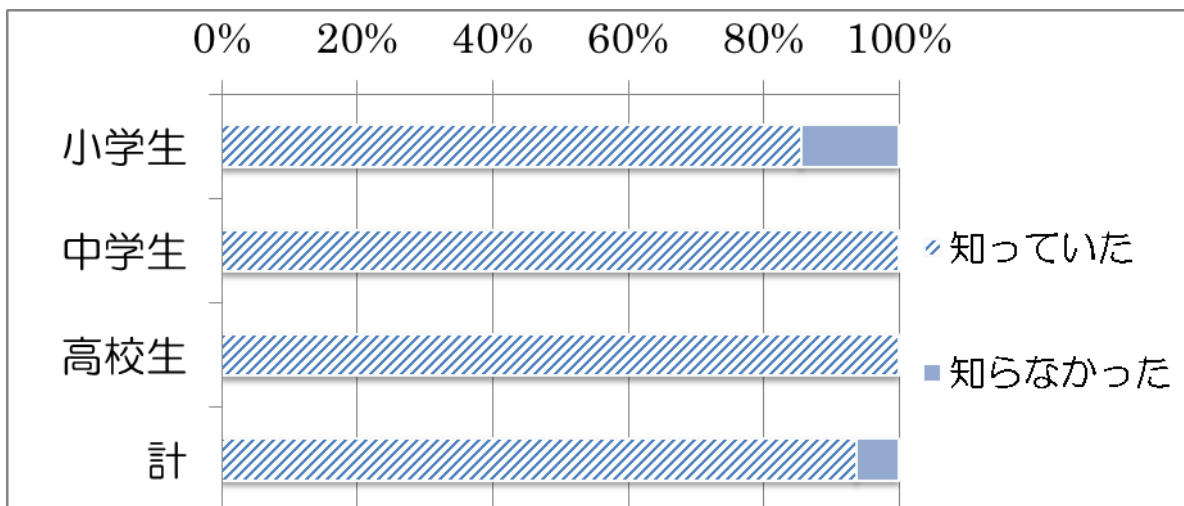
Q4 消費税(2)

みなさんが、商品を買ったりサービスを受けたりしたときは、商品やサービスの代金に5%の消費税が含まれています。この消費税は、平成26年4月1日から8%に引き上げられる予定です。あなたは、消費税があがることを知っていましたか？

- ①知っていた
- ②知らなかった

(単位：人)

	小学生	中学生	高校生	計
知っていた	77	83	35	195
知らなかった	13	0	0	13
計	90	83	35	208



小学生では、「知らなかった」を選んだ人もいましたが、中学生、高校生では、みなさんが「知っていた」を選びました。なお、Q3の説明でふれたとおり、5%というのは、消費税4%と地方消費税1%をあわせたものです。8%に引き上げられたときは、消費税6.3%と地方消費税1.7%となります。

今回引き上げられた分は、年金、医療、介護、少子化対策に使われることになっています。

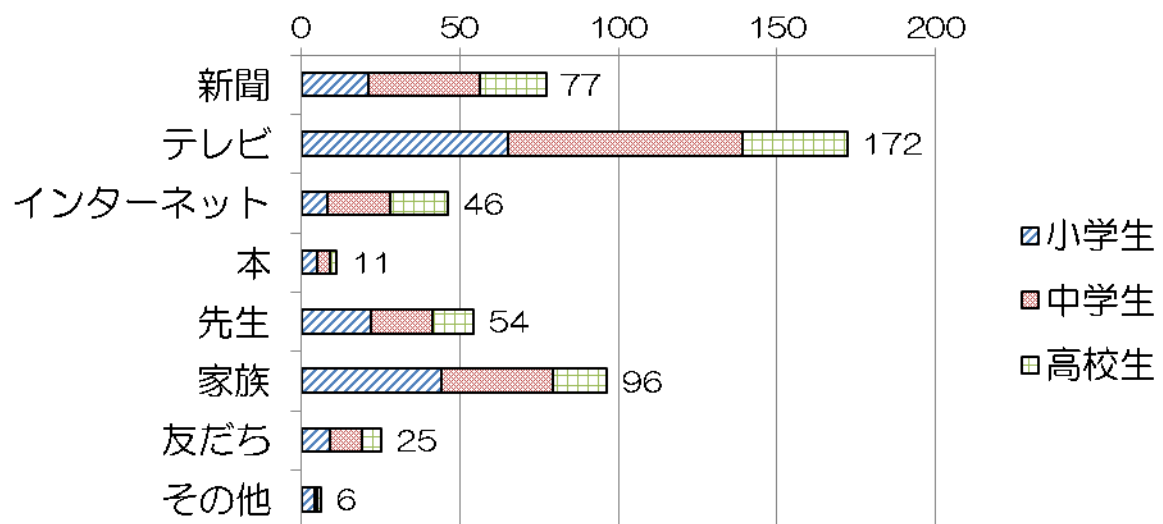
Q5 消費税(3)

Q4で「知っていた」と答えた人に聞きます。それはどこで知りましたか？または、だれから知りましたか？あてはまるものをすべて選んでください。

- ①新聞
- ②テレビ
- ③インターネット
- ④本
- ⑤先生
- ⑥家族
- ⑦友だち
- ⑧その他()

※延べ人数 (単位：人)

	小学生	中学生	高校生	計
新聞	21	35	21	77
テレビ	65	74	33	172
インターネット	8	20	18	46
本	5	4	2	11
先生	22	19	13	54
家族	44	35	17	96
友だち	9	10	6	25
その他	4	1	1	6



国会などで、消費税率を引上げるかどうか話し合われていたときは、連日、大きなニュースになっていたこともあり、「テレビ」と答えた方が一番多かったです。次に多かったのは「家族」で、消費税率の引上げが毎日の生活に大きな影響を与えることもあり、家族の話題にもなっていることがわかります。

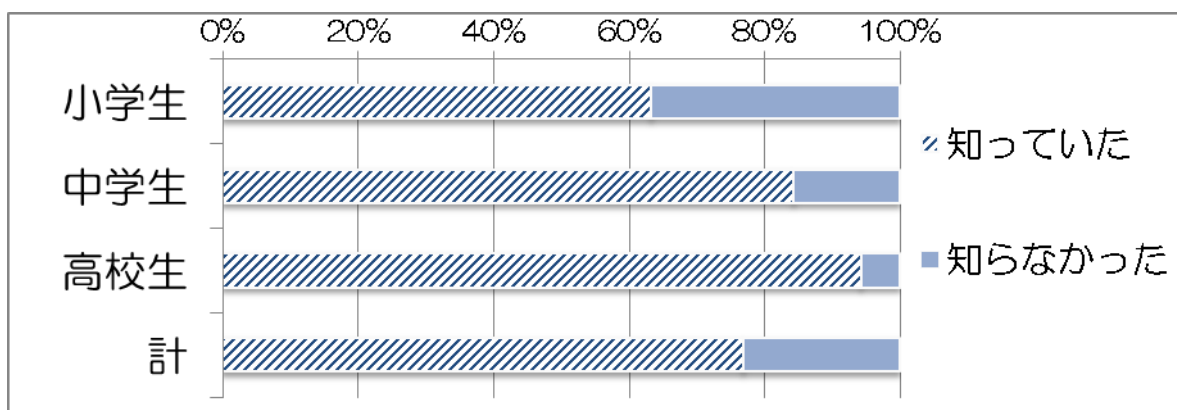
Q6 子どもと税金

子どもであっても、買い物をした時には消費税を負担していますし、また、子どもでもお金をかせいでいる人（子どもタレントなどをしている人）は、所得（もうけ）があれば税金を納める場合があります。あなたは、子どもであっても、税金を負担しなければならない場合があることを知っていましたか？

- ①知っていた
- ②知らなかった

(単位：人)

	小学生	中学生	高校生	計
知っていた	57	70	33	160
知らなかった	33	13	2	48
計	90	83	35	208



年代が上がるにつれて、「知っていた」を選んだ人が増えています。子どもであっても、税金を負担しなければならない場合があることを覚えておいてください。

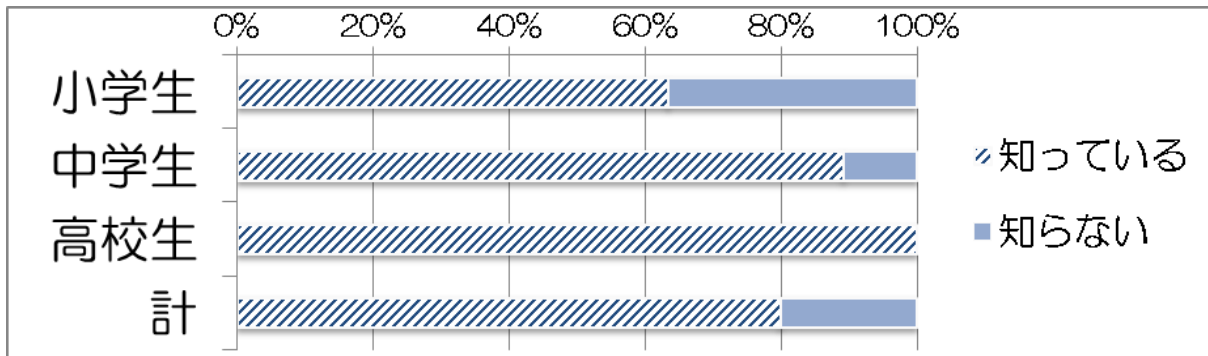
Q7 税についての決まり

あなたは、納税（税金を納めること）は、日本国憲（けん）法で決められている国民の義務（従わないといけないこと）であることを知っていますか？

- ①知っている
- ②知らない

(単位：人)

	小学生	中学生	高校生	計
知っている	57	74	35	166
知らない	33	9	0	42
計	90	83	35	208



日本国憲法第30条では、「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負ふ。」と定められています。これを「納税の義務」といい、「勤労（働くこと）の義務」「教育の義務」となっていて、国民の三大義務の一つとされています。税金は、正しい金額を、納期限（税金を納めなければならない期限）までに納めなければなりません。

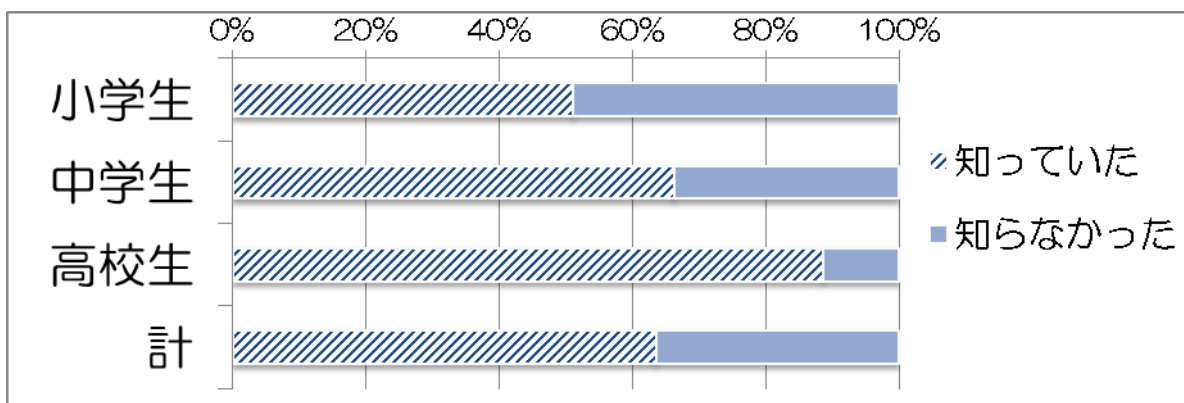
Q9 税金の使いみちの決め方

税金の使いみちは、選挙で選ばれた国民の代表者である国会議員が国会で話し合って決めます。地方（県、市町）でも、国と同じように議会で話し合って、税金の使いみちを決めています。あなたは、税金の使いみちがどのように決まることを知っていましたか？

- ①知っていた
- ②知らなかった

(単位：人)

	小学生	中学生	高校生	計
知っていた	46	55	31	132
知らなかった	44	28	4	76
計	90	83	35	208



年代が上がるにつれて、「知っていた」を選んだ人が増えていますが、小学生では約半分の人が、全体では40%弱の人が、「知らなかった」と答えています。

国民からどれだけの税金を集めて、どのように使うのか、何にいくら使うのかは、選挙で選ばれた国民の代表者である国会議員が、国会で話し合って決めます。このように決められた、1年間に国に入るお金と使いみちの予定を示した計画のことを「予算（よさん）」といいます。そして、地方においても同じように、選挙で選ばれた県議会議員・市町議会議員が、地方議会で話し合って予算を決めます。

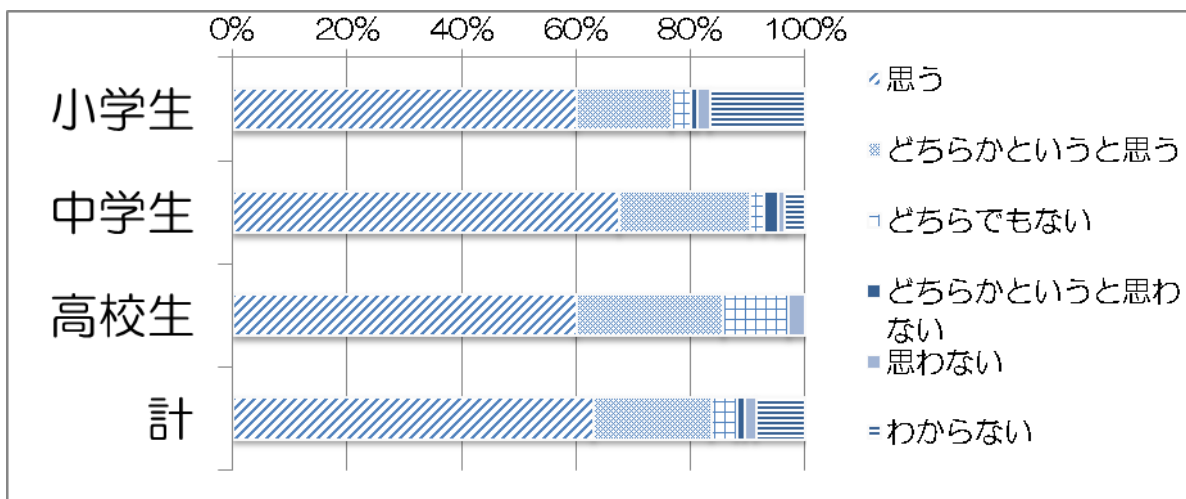
Q10 税金の役割(1)

あなたは、税金がわたしたちの暮らしに役立っており、なくなってしまうと困るものだと思いますか？

- ①思う
- ②どちらかというと思う
- ③どちらでもない
- ④どちらかというと思わない
- ⑤思わない
- ⑥わからない

(単位：人)

	小学生	中学生	高校生	計
思う	54	56	21	131
どちらかというと思う	15	19	9	43
どちらでもない	3	2	4	9
どちらかというと思わない	1	2	0	3
思わない	2	1	1	4
わからない	15	3	0	18
計	90	83	35	208



「思う」「どちらかというと思う」をあわせると、全体で80%を超えました。小学生、中学生では「わからない」を選んだ人もいることから、少し難しい質問だったかもしれません。

Q11 税金の役割(2)

Q10 のあなたの答えについて、どうしてそのように思いますか。あなたが思うことを自由に書いてください。

たくさんの回答をいただきました。

「思う」「どちらかというと思う」を選んだ人が書いた内容では、『教育、福祉、安全などのために、税金は必要』というものが多かったのですが、一方で、『必要であるとはわかるが納めたくない』という本音を書いた人や、『必要だと思うが無駄づかいをしてほしくない』という内容を書いた人もいました。

無駄づかいについて書いた人は、Q10 で「思う」「どちらかというと思う」以外の答えを選んだ人の中にもみられました。

○「思う」「どちらかというと思う」を選んだ人が書いた内容の一部を紹介します。

(教育、福祉、安全などのために、税金は必要という意見)

- 税金が無ければ、国や地方自治体が機能しなくなり、大きな問題となるから。
- 警察がいなかったら犯罪が多くなって安心して暮らせない。
- 医療費が高額になるから。
- 自分たちの年金がもらえなくなってしまうかもしれないから。
- 教科書などが無料で配布されないと困るから。
- 豊かな社会をつくるのに必要だと思います。



(税金は納めたくないが、必要という意見)

- 本音を言えば払いたくないが、ないと不便になったりするから仕方がないと思う。
- 払わないといけなのは嫌だけど、必要のあるお金だと思うから。
- 子どもなのに税金をとられるのは嫌だけど、税金が必要なのはわかる。



(税金は必要だと思うが、無駄づかいしてほしくないという意見)

- 道路など、みんなが使用するものは、税金によって修理などがされないと、よりよい街づくりができないと思います。無駄のない、正しい使用方法で、税金を役立てて欲しい。
- 政治家や役人や官僚が税金の無駄づかいをしなければ庶民の生活はもう少し楽になると思う。
- 税金を取ってもいいけれど、使い道はもっと考えてほしい。
- なくなると困るけど、増やす必要はないと思う。増やす前に減らせるところで減らすべき。
- 正しく使われないなら負担したくない。

○「どちらでもない」を選んだ人が書いた内容の一部を紹介します。

- 本当に役に立っているのかわからない。
- 適切などころに適切に税金が使われていると思わない。
- 税金を集めたら、その使い道は使う側に任されていて私たちのために使われてる気がしないから。

○「思わない」「どちらかというと思わない」を選んだ人が書いた内容の一部を紹介します。

- 必要ではあるが役立ってない。
- 全てを私たちの暮らしのために使ってくれているのであればいいけれど、無駄な使い方をしているのであれば、意味がないと思う。
- 税金を払わなかったら、お金がもっとたまるから。
- 税金が給料から引かれると聞いて「いやだな」と思ったから。

○「わからない」を選んだ方が書いた内容の一部を紹介します。

- まだ税金の勉強をしていません。
- 難しくてよくわからない。

ま と め

今回のアンケートは、みなさんが税金についてどれくらいのことを知っているかを確認し、税金について考えてもらうきっかけにするために実施しました。まだ、税金の勉強をしていない人には、少し難しかったかもしれませんが、質問に答えてもらうことで、勉強してもらえるような内容としました。

アンケートの解説のページ

現在の日本には、たくさんの借金があります。また、今後の日本では、少子高齢化がさらに進んでいき、高齢者の生活を支える若い人の数は減っていくと予想されていますので、今のままの税のしくみでは、わたしたちの生活を支えることが難しくなっていきます。

税金が無駄なく効率的に使われなければならないことは言うまでもありませんが、私たちはこれからの時代にあった国民負担のあり方と国の役割について考える必要があります。世界には、国民に税金などで大きな負担を求めるかわりに、福祉サービスを充実させている国（高福祉・高負担の国）があります。一方で、国民の負担は小さいのですが、福祉などでは国民自身が自分で努力するよう求めている国（低福祉・低負担の国）もあります。どちらを選ぶかは、人によって、いろいろな考え方があると思いますが、これからの日本で、国にどれだけの福祉などのサービスをのぞむのか、そのためにはどれだけの負担が必要であるのか、を考えていくことが大切です。

みなさんも、豊かで安心して暮らせる未来のために、これからの税のしくみや使いみちについて考えていきましょう。